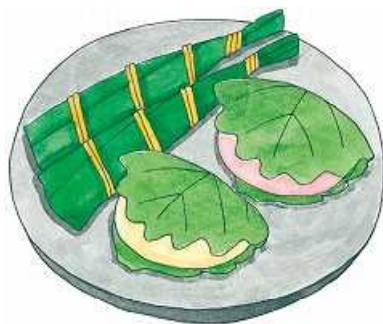


五月の俳句

(2021年5月)



目次

| | | |
|--------|--------|-------|
| たべもの俳句 | モノロク俳句 | 歳時記俳句 |
| 10 | 6 | 1 |
| ） | ） | ） |

< 皐月 >

惜春，晩春，暮春，新緑，薫風，青葉，若葉，藤花，初夏，向暑，輕暑，五月，五月晴れ

(宇佐美保幸)メール・zeirisi777usami@aol.com

毎日の俳句は次のブログに
巢鴨とげぬき徒然俳句
<https://blog-haiku.777usami.com>

駅前
のけやき野放
輝きは徐々に薄
花石榴群れず叫
ばず主張して

尿検査色を確か
め立夏かな
夏来る小さな庭
の草むしり
空気佳し風爽や
かに鯉のぼり

菖蒲湯もシャンプー
すれば抜け毛
菖蒲湯や手足も
伸びて長湯して
雨あとの鳥と会
話の山法師

虎杖や昭和の子
供空広く
一初や美人も時
に憂い顔

木春菊花占いで
泣いている
木春菊あなたは
何色選びます



じやがいもの咲いて大地の地平線
白五弁雨で洗われ車輪梅
野を歩きあらゆる記憶蛇苺

血と尿の検査毎月柿若葉
葉のすきま光のつぶて柿若葉
若葉風恐竜凶鑑パラパラと
若葉風部下にあわせる定食屋
考える考えすぎて若葉雨

変化して箱根空木の咲く団地
かたばみのごとくしぶとく生き抜いて
かたばみを花としてみる人もいて
えごの花何故かうつむきふさぎ込む
ブラシの木祓い清めよ我が顔を

東京に坂道多く薄暑なり
売国奴馬鹿なマスコミ薄暑かな



薔薇の黄は薔薇の赤など無視をして
バラのとげ剪定すれど抵抗し
資本論格差拡大薔薇の花
つる薔薇が高さを競い赤と白
バラ園の薔薇と一緒に深呼吸
だからバラ求む人あり赤きバラ
薔薇が咲くだから都電で往復し

棕櫚の花雨に慌てし魚卵かな
ひしめいて無駄に競うか棕櫚の花

群れ咲いてどこか眠たし著莪の花
著莪咲くや墓地に続いた散歩道
木の匂い山の匂いや滝しぶき

脱ぎきれぬ皮もみれんに今年竹
竹皮を脱ぐ俳句挑戦定年後



ぞろぞろと蟻螂生まれ散り散りに
三密にかまきりの子は生まれけり
かたつむりスマートフォンに通知あり

瀬戸の海時には怒り卯波立つ
どくだみや雨に打たれて空に伸ぶ
ふと見ればそれぞれ老いて柿の花

鼻わるき人には薫風匂わざる
薫風や兄弟四人高齢者
五月尽団地彩る花さつき





モロク俳句

悲しみを背負ひモロク五月くる
五月かなモロクすれど腹の鳴る
モロクし極めて地味に五月かな

モロクし強がり多くクレマチス
急がざるモロクすれど牡丹かな
モロクしされど青春白牡丹
モロクし死のことと思う白牡丹

修司忌にモロクすれば正露丸
モロクし行きつ戻りつみどりの日

モロクし散歩を終えて柏餅
モロクし宇宙を語る柏餅
おほらかにモロクすれど鯉のぼり



立ち向かうモーロクしても夏は来ぬ
モーロクし夜明けが早く夏が来る
モーロクし夫婦に余る初鯉

いちにちが遠いモーロク桐が咲く
桐咲けどころもじきモーロクす
桐の花おいておかれてモーロクす

モーロクし理屈は無用豆の花
モーロクし誤解偏見蛇いちご

モーロクし薄き肩吹くりラの風
モーロクの世界に香れリラの花

モーロクし人生あせて金雀枝
モーロクし捨てられぬまま余花の雨
棕櫚の花だらりと下りモーロクす



モーロクす雨に散けて棕櫚の花

モーロクし絶望自由青い薔薇

モーロクし今日の恋人赤い薔薇

モーロクし真紅の薔薇が好きになり

モーロクし意味なく唸る薔薇が咲く

モーロクし焦らないこと茹小豆

モーロクし疑心暗鬼に手毬花

モーロクしパンツ数枚干す薄暑

薄暑にてあの世も近しモーロクし

虞美人草あらかた散つてモーロクし

モーロクしほころびばかり小判草

モーロクし眺め意味なき桜の実

モーロクしみしりみしりと麦の秋

モーロクし眠つてしまふ麦の秋



モーロクし自由不自由著莪の花
青芭蕉モーロクすれど飯つくる

モーロクしいつも寝不足朴咲きぬ
モーロクし足弱なれど若葉道
モーロクし卵の花腐し家の中

モーロクし憐憫はかなく卯波立つ
モーロクし時間の外のかたつむり
モーロクし心臓小さく五月闇

短夜があけて眠たしモーロクし
モーロクしあと幾ばくの短夜かな



たべもの俳句

初がつお薬味たつぷり生醬油
そらまめはシンプル大事塩ゆで
空豆のひすいの餡で葛まんじゅう

憲法記念日おにぎりで昼すます

柏餅むかし赤胴いま鬼神

こどもの日変化球なりキムパプで

立夏なり茄子のきゅうちゃん自家製で

中華鍋炒飯弾け立夏かな

オムライスどこから食べる夏が来て

プリプリのエビとアスパラ夏初め

諦めて眺めるだけのさくらんぼ

デパ地下で眺めるだけのさくらんぼ



給料は昔のことよさくらんぼ

新玉をただスライスのサラダかな
枇杷嫌い種が大きく本音出て
爽やかな具だくさんなり五月椀

えんどうの甘みと色を浸し豆
新じゃがをごろごろ洗いポテサラを
しんじゃがは虐待されてポテサラに

酢を加え鰯をじっくりこっくり煮
おにぎりは吾がエネルギー若葉風
しょうが焼き見た目美味しく若葉風

塩ゆでしスナックPEndウおかか
ポリポリとスナックPEndウただ焼いて
卵かけ青紫蘇添えて夕薄暑



金星の並んだごとくきやべつ畑
露めしを一人で食べて今日終わる
辣菰を二三個添えて朝粥を
辣菰を好みの味に数瓶も

いか焼きの匂い香ばし漁港あり
バーガーにサラダたつぷり青葉風
薔薇が咲きあんパン食べて荒川線

飛魚の翼干されて役ただつ
ブログ書く疲れて新茶それでよし

夏大根ぴりりとおろしおろし蕎麦
五月病防ぐ我が家のカレーかな
カレーの香マンション廊下初夏の夕

梅肉であえるサラダや初夏の味
初夏の豆おいしさぎゅっとポトフかな





